

## かゆくなる皮膚病

### (平成22年度相生市健康大学講座講演要旨)

皮膚科を受診される方の多くはかゆみを訴えられます。かゆみが強いとイライラしたり、睡眠障害にもなり日常生活に大きな影響をもたらします。今回の講座ではかゆくなる皮膚疾患の代表例である蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎(カブレ)を中心に話します。

質問:蕁麻疹の原因は食物アレルギーが多い?

回答:蕁麻疹の原因は、牛乳や卵あるいはタケノコなど食物アレルギーが多いと思われがちですが、タケノコを食べると蕁麻疹が出るとわかっていると食べるのをひかえて予防している人も多く、突然の蕁麻疹で受診される方は感染アレルギーによることが多いようです。

質問:調理法はアレルギーに関係する?

回答:ピーナッツアレルギーの場合は煎る方が揚げたり煮たりするよりアレルギーを起こしやすいようです。卵も生卵を食べるとかゆくなるが、ゆでると食べれる場合もあります。トマトアレルギーでは熟したトマトの方がアレルギーを起こしやすくなります。

質問:アトピー性皮膚炎はなぜ、かさかさするの?

回答:アトピー性皮膚炎ではアレルギーが先か?ドライスキンが先か?ということは長年の疑問でしたが、最近、フィラグリンという皮膚に潤いをもたらす物質の遺伝子レベルでの解析が行われ、アトピー性皮膚炎では最初にドライスキン状態となり続いてダニ、ハウスダストなどに対するアレルギー反応が生じ、症状が形成されると考えられています。

質問:日曜日に山へ行ってその日はどうもなかったのに月曜になって顔が腫れました。

回答:蕁麻疹は卵などを食べて10分くらいでかゆくなるのに対し、ウルシやギンナンのカブレは遅延型アレルギーといわれ症状が少し遅れて出現するのが特徴です。化粧品、イヤリング、毛染めなどのアレルギーも遅延型に属します。

質問:対策は?

回答:かゆくて引っ掻くとその時は気持ちがいいですが、結局は症状を悪くしてしまいます。引っ掻いているとその部分が盛り上がり結節性痒疹という状態になり更に難治化してしまいます。お風呂あがりにかゆみが強くなることも多いのでお風呂の温度は高くない方がいいでしょう。適切なスキンケアも大切です。当院ではナローバンド UVB という新しい治療器を導入し効果をあげています。

文責(森田秀樹)